

# 漁況予報 いわし

## 第170号

2012年3～4月漁期  
(2012年3月14日発行)

※1 平年：過去5年平均  
※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### = 概況 =

#### 【マイワシ】

主要定置網における1月のマイワシ総漁獲量は44トンで、ほぼ前年(52トン)並みとなり、平年※1(36トン)をやや上回りました。つづく2月の漁獲量は75トンで、前年(14トン)を大きく上回ったものの、平年(96トン)をやや下回りました。

魚体は、1月には被鱗体長※2(以下同)11～14cmのヒラゴ～小羽マイワシが主体でした。これは2011年生まれの1歳魚と推定されます。

佐島地区のまき網は、1月は中羽～大羽主体、2月はヒラゴ～小羽主体の漁獲がありました。低調に推移しました。

今後は、ひきつづき1歳魚主体の漁獲が継続するものと推定されますが、海況次第で沖合から2歳魚以上の大羽マイワシが来遊することも考えられます。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網における1月のカタクチイワシ総漁獲量は87トンで、前年(315トン)および平年(188トン)を大きく下回りました。つづく2月の漁獲量は430トンで、前年(225トン)および平年(249トン)を大きく上回りました。近年は12月下旬頃からカタクチイワシ成魚の漁獲が本格化する傾向にありますが、今シーズンは2月になるまで大きな群の来遊がありませんでした。

魚体は、1月には10～12cmの小型成魚が主体でした。これは2011年生まれの1歳魚主体と考えられます。

佐島地区のまき網は、餌イワシの漁獲が継続しましたが、前年同様低調に推移しました。

今後は、ひきつづき小型成魚主体の漁獲が継続すると推定されます。

#### 【シラス】

当センターでは毎年、しらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、シラス船びき網の禁漁期間中(1月1日～3月10日)に相模湾内で試験操業を実施しています。今年の調査によるシラス漁獲量は、大半の漁場で1網当り1kg以下であり、10kg以上の魚が継続した前年を大きく下回る結果となりました。

漁獲物の重量組成は、例年同様カタクチシラス(カタクチイワシ仔魚)が主体でしたが、東部海域ではウルメシラス(ウルメイワシ仔魚)主体の漁場もありました。また漁獲物のサイズは全長25mm以上の中～大型個体が主体で、解禁後に漁獲対象となる小型個体はほとんど出現しませんでした。

これらのことから、解禁直後の3月中は低調な漁模様で推移するものと考えられます。

### = 予報 =

#### 【マイワシ】

今漁期は、ひきつづき2011年生まれのヒラゴ～中羽マイワシ(12～16cm)が漁獲の主体となり、あわせて2009年、2010年生まれの大羽マイワシ(18cm以上)も混獲されるでしょう。

今漁期の漁獲量は、1～2月の県内主要定置網の漁獲量から、前年を大きく下回る64トンと予測されますが、沖合からの大羽マイワシの来遊により、予測値を上回る可能性もあります。

#### 【カタクチイワシ】

今漁期は、ひきつづき小型成魚(10～12cm)が漁獲の主体となるでしょう。

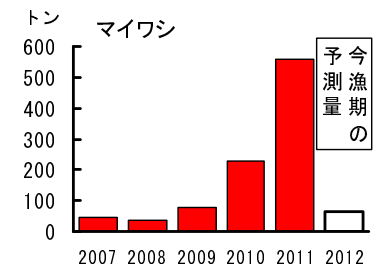
今漁期の漁獲量は、1～2月の県内主要定置網の漁獲量から、前年をやや上回る860トンと予測されます。

#### 【シラス】

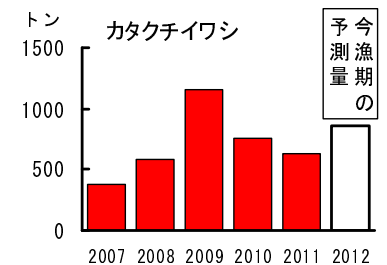
今漁期は、2月以降に生まれたカタクチシラスが漁獲主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、1～2月の県内主要定置網によるカタクチイワシ漁獲量から、前年並の92トンと予測されます。

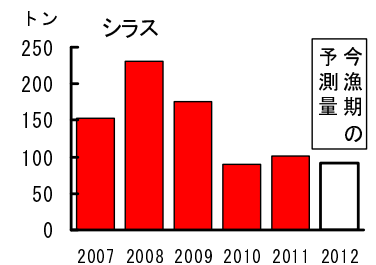
過去5年の3・4月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網



神奈川県水産技術センター資源環境部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2313